

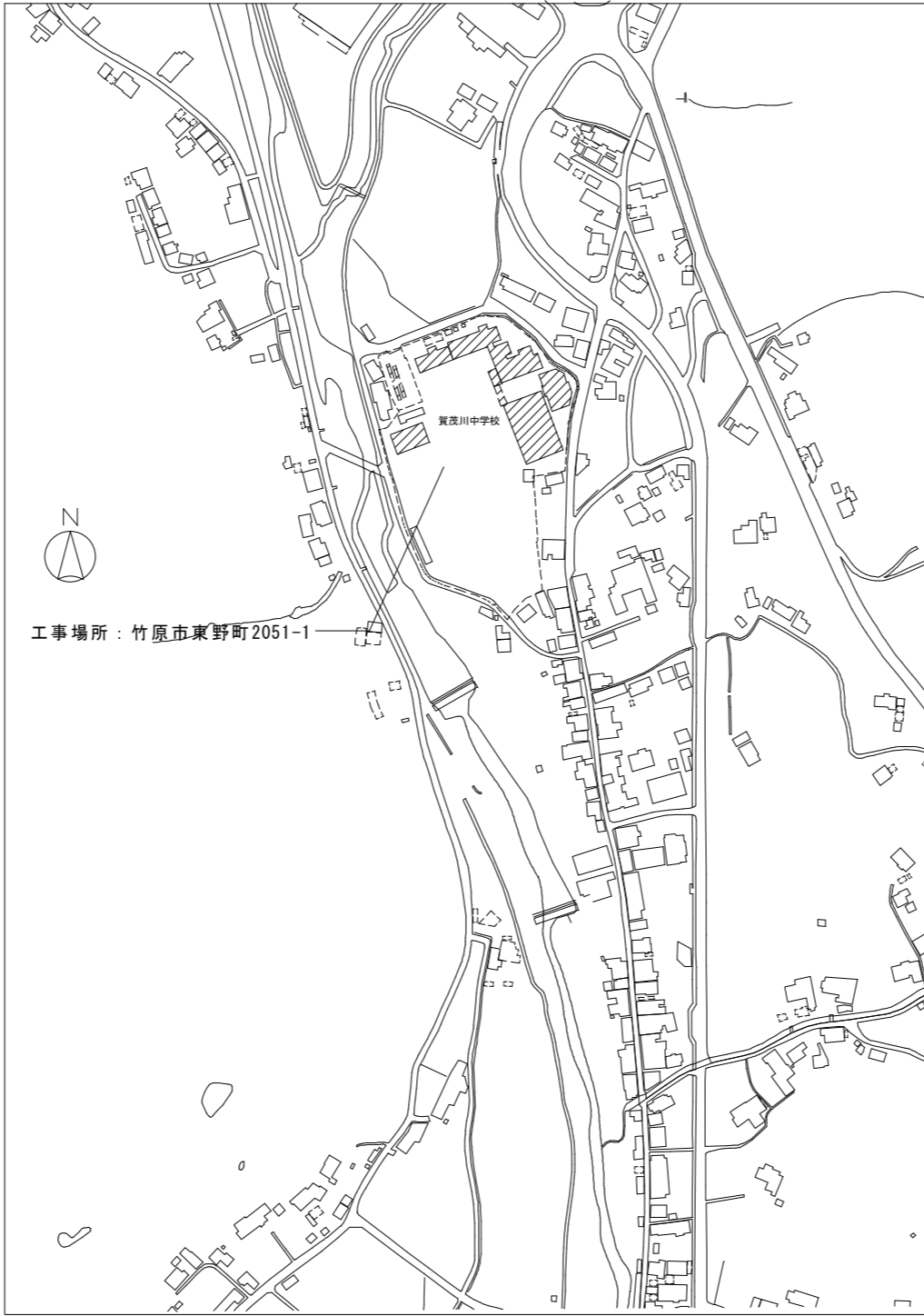
設計概要		
工事名称	(仮称) 賀茂川学園屋外照明改修工事	
工事場所	広島県竹原市東野町2051-1 他21筆	
敷地面積	20867.78㎡ (中学校敷地)、804.39㎡ (放課後児童クラブ敷地)	
用途地域	第一種住居地域	
防火地域	指定なし	
建物概要	用途	学校
校舎棟	工事種別	改修、増築
	耐火種別	耐火建築物
	構造	RC、3階建
	建築面積	1309.230㎡ (校舎棟)
	床面積	1階: 1231.218㎡ 2階: 1072.38㎡ 3階: 810.48㎡
	延べ面積	3114.078㎡ (校舎棟)
E V	構造	S造、3階建
	建築面積	14.62㎡
	延べ面積	43.86㎡
配膳室	構造	S造、平屋建
	建築面積	51.73㎡
	延べ面積	51.73㎡
屋内運動場	構造	RC、1階建
	建築面積	1289.365㎡
	床面積	1107.00㎡
柔剣道場	構造	RC、1階建
	建築面積	433.365㎡
	床面積	352.50㎡
プール	構造	RC、1階建 (付属棟)
	建築面積	63.43㎡ (付属棟)
	床面積	63.43㎡ (付属棟)

■ 工事内容

電気設備工事

1、空調設置工事に伴う電源供給工事

工事内容: ・既設投光器をLED投光器に更新
・照明配電盤及び屋外配線の改修・更新

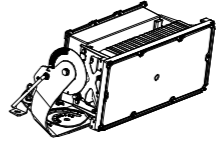


付近見取図 (1/2500)

照明塔	タイプ	H (m)	既存				新設
			HF 撤去	LED 取外し	殺虫器 撤去	PB 撤去	LED
P1	B	13.3	2	2	0	1	4
P2	A	14.2	7	1	1	1	4
P3	B	13.3	4	0	0	1	4
P4	A	14.2	8	0	1	1	4
P5	B	13.3	4	0	0	1	4
P6	A	14.2	8	0	1	1	6
P7	B	13.3	4	0	0	1	4
P8	A	14.2	6	2	1	1	6
P9	A	14.2	6	2	1	1	4
計			49	7	5	9	40

LED投光器 40台

マルチハロゲン灯Sタイプ1000形



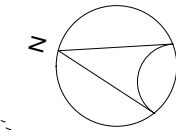
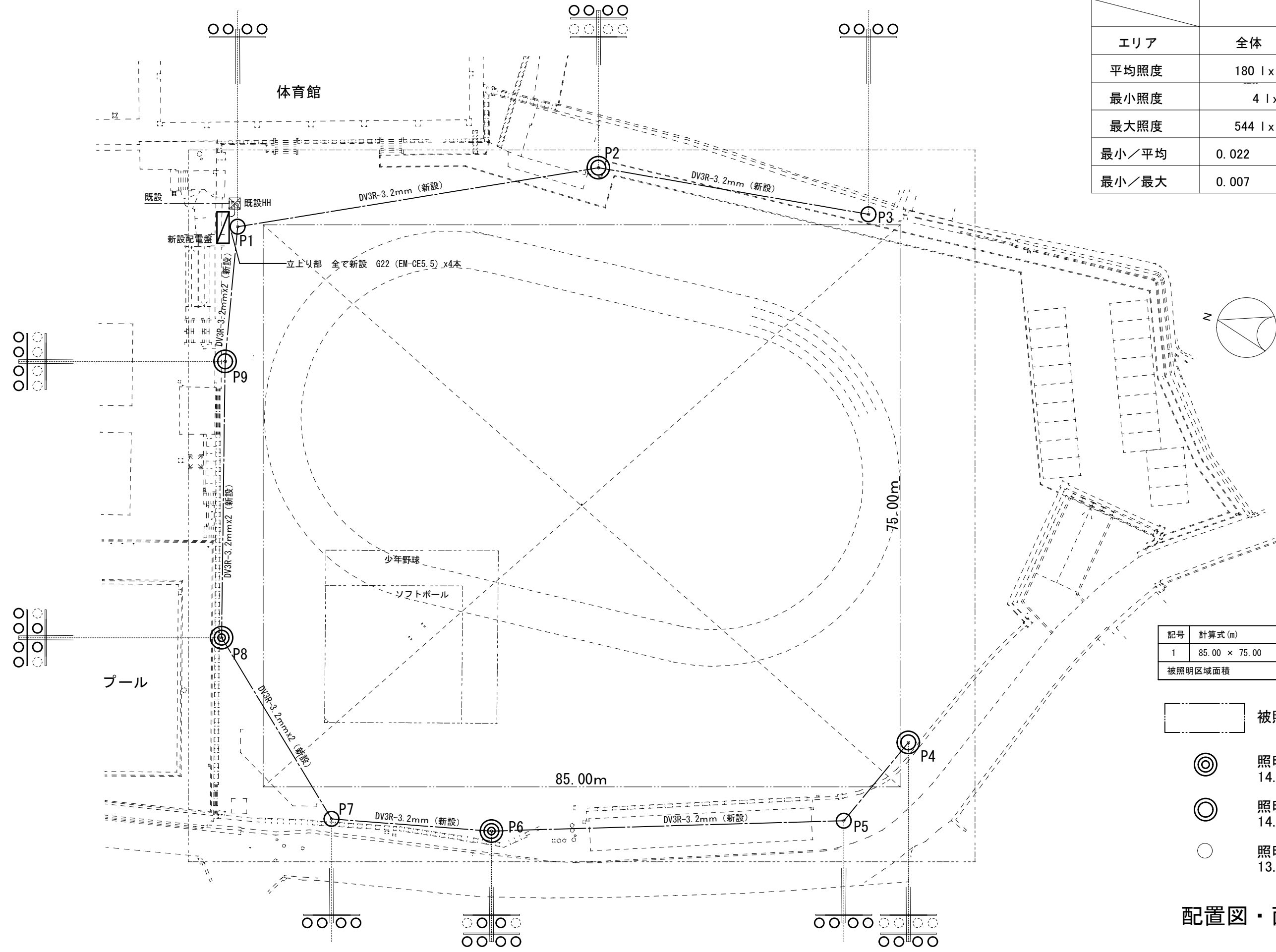
電源ユニット内蔵、中角配光タイプ
 光束69000lm、消費電力400W、電圧200~242V
 昼白色、5000K、Ra70、光束維持時間40000時間 (光束維持率85%)
 本体: アルミ (コーヒーブラウン)、前面パネル: ポリカーボネート (透明)
 アーム: 鋼材 (溶融亜鉛メッキ)、ハンドル: ステンレス
 重耐塩害仕様、保護等級: IP65、耐風速60m/s、質量: 11.5kg
 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ: 15kV、初期光束補正型 (平均電力370W)

参考品番: パナソニック NYS30537KLE2

御承認	記事	校閲	設計	設計年月日 2026	工事名称 (仮称) 賀茂川学園屋外照明改修工事	図面番号 E-2
					図面名称 設計概要・付近見取り図・姿図	縮尺 1/2500

(参考) 照度分布

エリア	全体	計算エリア
平均照度	180 lx	241 lx
最小照度	4 lx	39 lx
最大照度	544 lx	544 lx
最小/平均	0.022	0.163
最小/最大	0.007	0.073



記号	計算式 (m)	面積 (㎡)
1	85.00 × 75.00	6375.00
被照明区域面積		6375.00

- 被照明区域
- 照明塔 (type A 6灯)
14.2m (8灯→6灯)
- 照明塔 (type A 4灯)
14.2m (8灯→4灯)
- 照明塔 (type B 4灯)
13.3m

配置図・面積表 1/500

公共建築工事標準仕様 分電盤類製作仕様書

標準仕様

国土交通省大臣官房官庁庁舎部監修・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、及び公共建築改修工事標準図（電気設備工事編）・令和4年版に準拠します。これにない項目については、JIS、JEM、JEAC、電気設備技術基準等の公的基準規格を適用し、これ以外は弊社製作仕様とします。但し、現場監督職員の承諾・指示に依るものは、支障のない限り上記に優先されます。

1.7.2 構造一般
1.7.3 キャビネット

<構造仕様>

イ) 分電盤キャビネット
主要部材

構成部	標準厚さ (mm)	材質
ボックス	t1.6以上	鋼板
前面枠及びドア	同上	同上
保護板	シ	シ
取付板	シ	シ

注) 鋼板は、SPHC、SGHC等を使用します。
SUS制指定の場合は、t1.2mm以上とします。
取付板にめっき鋼板を使用する場合は、塗装致しません。

ロ) ハンドルは図中に示します。

ハ) 図面ホルダーは、透明難燃性樹脂製を使用し、原則としてドア裏面に取付します。但し、取付スペースがない場合は、この限りではありません。

ニ) 整名称板、施工者銘板、製造者銘板の取付は、図中に示します。（整名称板はドア表面の上部取付。）

ホ) ガター寸法は本基準を参考としますが、施工条件に依り寸法対応を行います。

ヘ) 接地端子はM8ボルトを2ヶ取付します（頭部緑色）。又、連結結（2連以上）は渡り線を取付します。

ト) 分枝名称板は、CH（カードホルダー）を取付します。
CHカードに記入する場合の文字は、タイプ打ち又は、ワープロとします。

チ) 回路仕切板（セパレータ）は、t3.0合成樹脂製とします。

リ) 分枝ブレーカには回路番号を貼付します。

ヌ) ブレーカのスペース部分には、スペースユニット又はブラックプレートを取付します。

ル) ドアに表示灯類、操作機器を取付する場合は、裏面の充電端子がキャップ等で保護します。

ロ) 保護板は、図面に記載なき場合、閉閉方式を基本とします。

ワ) ELB用接地端子は、御指示分については取付致しません。

カ) 屋外自立形の場合、開いたドアは固定出来る構造とします。

<塗装仕様>

塗装部分	標準色
整表面色	ボックス・ドア □22-90B (2.5Y9/1参考値) 5分ツヤ チャンネルベース □部は日建工の色見本帳発行年度記号を表します
整内面色	同上
カバー、保護板	シ

(指定色の場合は図中に記入します)

1.7.4 導電部

<配線及び色別>

イ) 配線仕様

回路の種類	電線被覆色	電線太さ	主な電線種類
低圧主回路	黄	—	EM-IE HIV
制御回路	交流	1.25mm ²	EM-IE HIV
(48V以下の小勢力回路は除く)	直流	1.25mm ²	EM-IE HIV
計器用変圧器2次回路	黄	2mm ²	EM-IE
変流器2次回路	黄	2mm ²	EM-IE
接地線	緑	—	EM-IE

*EM-IEにては配線困難箇所は、EM-LMFCを使用します。
EM-LMFC:色(黄)許容温度110℃

ロ) 主回路の相別及び配列

電線は、端末をビニールキャップにて相色別を施します。
銅帯はメッキを施し、銅帯の一部に相色別シールを貼り付けします。

相線式	銅帯・電線の相色別			配列		
	第1相	第2相	第3相	中性相	左右の場合左から	上下の場合上から
単相2線100V	赤(黒)	白	—	—	赤(黒) 白	赤(黒) 白
単相2線200V	赤	黒	—	—	赤 黒	赤 黒
単相3線式	赤	黒	—	白	赤 白 黒	赤 白 黒
三相3線式300V以下	赤	白	青	—	赤 白 青	赤 白 青
三相3線式300V超過	赤	黒	青	—	赤 黒 青	赤 黒 青
三相4線式	赤	黒	青	白	赤 黒 青 白	赤 黒 青 白
直流	赤(正極)	青(負極)	青	赤	赤	赤

注1) 三相回路又は単相3線式回路より分枝する回路は、分枝前の相色別とします。
注2) 左右、上下、遠近は、正面より見た状態とします。
注3) 分枝ブレーカの種類と配置に依り、上記と異なる場合もあります。
注4) 三相3線式300V超過は、非接地方式としています。

ハ) 銅帯

銅線導体は、メッキを施します。
尚、電流密度は下表を基準とします。但し、銅帯の途中にボルト穴の類があっても、その部分の断面積の減少が1/2以下である場合は、これを考慮に入れません。
銅帯の温度上昇値が、6.5℃（最高許容温度10.5℃）を超えない場合は、下表に依りません。

電流密度 <A>	1.25Hz	125Hz~250Hz	250Hz~400Hz	400Hz~630Hz
電圧降下 <V/mm>	3.0Hz	2.5Hz	2.0Hz	1.7Hz

ニ) 母線銅帯の大きさ

電流	厚み (t) x 幅 (mm)	形状
100A	t3 x 12, t3.2 x 13	弊社標準銅帯は、2.5mmピッチ分枝銅帯固定ネジ穴 (M6) 付としています。
200A	t5 x 20	
400A	t8 x 30, t6 x 40	
600A	t15 x 30, t10 x 40	

主銅帯ネジには、しめ付け確認ペイントを塗付します。
分枝銅帯は片切MCB (1P) の場合同列配置とします。

(カンタッチ用)

電流	厚み (t) x 幅 (mm)	形状
100A	t3 x 18	分枝回路毎に1端子又は1本のねじを設け、分枝ブレーカの負荷側近くに設けます。
200A	t3 x 35	
400A	t3 x 80	

ホ) 分枝回路の接地線を接続する端子又は銅帯を設けます。

・分枝回路毎に1端子又は1本のねじを設け、分枝ブレーカの負荷側近くに設けます。

1.7.5 制御回路等

イ) 制御回路

制御回路には、線香を付したマークチューブを装着端子キャップとして取付します。
配線方式は、ビニルダクト配線又は、束線式とします。

ロ) 圧着端子

主回路は丸型を使用します。但し器具の端子構造等により、これにより難しい場合は弊社標準とします。
制御回路はY型を使用します。
主回路1次側の圧着端子及び、端末色別キャップを同梱します。（取付指示分のみ）

1.7.6 器具類

イ) 単相3線式回路に設ける配線用遮断器及び漏電遮断器は、中性線欠相保護機能付とします。

ロ) 絶縁変圧器は、1kVA超過はJEC-2200準拠とします。

ハ) 制御回路に用いる回路保護装置は、その回路に必要な遮断容量を有する JIS C6575 「ミニチュアヒューズ」によるヒューズを使用します。

ニ) 予備品: ヒューズ類は、現用数の20%以上、最低1ヶ。（LED、SPD用分離器ヒューズは除く）

製作注意事項

1. 表示灯はLED球を使用。

2. 接地について

イ) 列整時の処理: 列整における機器アース同士およびELBアース同士は各々、すべて接続。

ロ) 各アースの表示: 日地に黒文字ラベルにて、機器アースはED、ELBアースはED (ELB) で表示。
<機器アース用> [E D] <ELBアース用> [ED (ELB)]

ハ) 盤内接地線の区分: 目視にて区分可能なよう、ELBアースの端末色別キャップは黄色を取付。

<機器アース用接地線> <ELBアース用接地線>



端子盤類製作仕様書

1.4.1 一般事項

1.4.2 端子盤等

<構造仕様>

イ) 端子盤キャビネット
主要部材

構成部	標準厚さ (mm)	材質
ボックス	t1.6以上	鋼板
前面枠及びドア	同上	同上
取付板	t1.5以上	木板

注) 鋼板は、SPHC、SGHC等を使用します。
SUS制指定の場合は、t1.2mm以上とします。

ロ) ハンドルは図中に示します。

ハ) 整名称板、施工者銘板、製造者銘板の取付は、図中に示します。（整名称板はドア表面の上部取付。）

ニ) ドア寸法が幅幅700mm超過は両開きとします。

ホ) セパレータはt3.0合成樹脂製とします。

ヘ) TV機器収納部は、増幅器を収納する場合は放熱口を設けます。

ト) 図面ホルダーは、透明難燃性樹脂製を使用し、原則として扉裏面に取付します。但し、取付スペースがない場合は、この限りではありません。

<塗装仕様>

塗装部分	標準色
整表面色	ボックス・ドア □22-90B (2.5Y9/1参考値) 5分ツヤ チャンネルベース □部は日建工の色見本帳発行年度記号を表します
整内面色	同上

(指定色の場合は図中に記入します)

